

山本 泰三

D：福島県会津東山温泉コース

今回東日本大震災復興支援事業・東北応援ツアーD：会津コースに参加して今まで他人事のように思っていた大震災の福島に来て、人の顔・人の話す言葉を聞いて大変な事になっていると今更遅まきながら痛感いたしました。

私は大学を卒業して会社に勤め、それから親の家業を手伝い、また他の会社に勤め、そしてまた50歳を過ぎてから自分にあった自分のやりたかった仕事を思い、ある方が経営されていた自然食品店を継ぎました。東日本大震災が発生するまでは、東北地方は、有機栽培・無農薬無化学肥料農法など大変努力されていた地方で、我が店でも多く取引させていただいた地方の一つです。

しかしながら残念なことに、東北の野菜・果物は全くと言っていいほど売れず、仕入れが少なくなり大変申し訳ないと思っております。

しかし、会津に来て農家の方の話を聞いても、風評被害で大変な目にあっているとの事、京都・関西地方だけでなく、他の地方でも小さな子供がいるから、福島だけでなく東北の野菜・果物はできるだけ買わないという事態になっていると思います。

この状況をみて、東北地方だけでなく、私たち京都も、福井、大飯他の原発を抱えていることで、全く人事・他人事ではなく、明日は我が身ということ、すべての人がわかっているのでしょうか。いや、すべての人が他人事ではいけないのではないのでしょうか。

今回のツアー参加でいろんな話を聞いて、いろんな事をみて、遅まきながら実感いたしました。

またこの様な応援ツアーがあればできるだけ参加させていただきたいと思えます。

関係者の方々、ご苦勞様でした。